

カナダで学ぶ10日間の海外研修

町教育委員会は、国際的な視野を持ち、町の未来を支える人材の育成を目的に、7月27日から8月5日までの10日間、カナダ・サレー市で英語研修を実施。町内の義務教育学校8年生15人が参加し、現地の人々と交流しました。



現地の学生と習字やじゃんけんなどで交流を楽しむ



三ツ星学園8年生
鈴木 奈央

カナダで感じた文化の違い

私が今回のカナダ研修で特に学んだことは二つあります。一つ目は、文化の違いです。私が滞在したホームステイ先の食事は、朝や昼は基本的にサンドイッチで、夜はカナダに多様な国の人が住んでいるためか、様々な国の料理が出てきました。カナダの食事はボリュームがあつてすぐにお腹がいっぱいになり、時には残してしまふこともありましたが、どれも本当に美味しかったです。また、建物の違いにも驚きました。カナダは土地が広いいため、日本とは

違って大きな家ばかりでした。その一方で、壁が薄いために隣の部屋の音がよく聞こえてきたり、公共のトイレが日本のトイレほど綺麗ではなかったり、個室の仕切りが上下に大きく開いていて、少し落ち着かない気持ちになったりもしました。このような生活文化の違いを肌で感じたことで、普段は当たり前だと思っていた「日本の良さ」を再発見することができ、日本のことがより好きになりました。

コミュニケーションに挑戦

二つ目は、言語についてです。私は最初、会話の中でわからない単語があると、そのことがかりを考へて何度も聞き直してしまいました。また、英語はスペル（綴り）通りに発音しないことも多く、日本語との違いに難しさを感じて聞き

英語学習への新たな視点

今回の研修は、人と話す楽しさや、反応することの大切さを教えてくれました。また、間違えることを怖がらないことも大切だと学びました。カナダ研修に行くまでは、英語を間違えたくないと思つていました。しかし、完璧な英語でなくても、伝えようとする気持ちがあれば、相手も理解しようとしてくれることが分かりました。この経験を、これからの英語の学習や、普段の生活に生かしていきたいです。そして、相手に自分の気持ちを伝えるということを意識したいです。カナダ研修で学んだことを忘れず、これからも色々なことに積極的に挑戦していきたいです。

（作文は原文のまま掲載しています。）



光の森学園8年生
小林 風優

コミュニケーションの大切さ

私は、今回のカナダ研修で多くのことを学びました。特にコミュニケーションにおいて、大切なことに気づくことができました。

ホームステイを始めてから二、三日は、思ったようにリアクションができず、学校の授業でも積極的になれませんでした。しかし、「そ

る価値観を持つ人と出会ったとき、自分の考えを押し付けるのではなく、相手の価値観を尊重し、理解できるようになりたいです。そして、今回の悔しさをバネに、これからは英語学習にもより一層力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

学びと今後の目標

これからは、この研修での経験を活かし、初めて会う人とも積極的にコミュニケーションを取っていききたいです。また、自分とは異なる

◀ピース・アーチ（アメリカとの国境）



参加者全員のレポートはホームページから▼

